



自主

自律

敬愛

健康

令和3年度入学式 ~34名の新生が夢や希望を胸に入学しました~

暖かな春の日差しのもと、令和3年度の入学式を挙行了いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、制限された中ではありましたが、新しい制服を身にまとった新生は、学級担任から一人一人呼名され、緊張しながらも精一杯の返事をしていました。生徒会長の折笠遥南さんから歓迎の言葉が新生に送られたあと、新生代表大槻菜紘さんから誓いの言葉が述べられました。大槻さんの「西会津中生としての誇りをもって、何事にも積極的に挑戦する気持ちを忘れず努力することを誓います」という堂々とした誓いの言葉に、これからの新生の明るい未来を感じました。



令和3年度 入学式校長式辞より

三十四名の新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。中学校一年生は、見方を変えようと義務教育七年目です。これからの中学校生活は、小学校六年間での経験や学びを生かし、一人一人が夢や希望を実現し、社会の中で生きていける力を身に付ける、義務教育の総仕上げの三年間となります。

中学校は「社会の中で生きていける力をつける場所」です。では、「社会の中で生きていける力」とはどのようなものでしょうか。今、皆さんの前には本校の教育目標「未来の可能性を創造する生徒」が掲げられています。その中に「自主」「自律」「敬愛」「健康」という言葉があるのを見えますか。すべて大事な言葉ですが、その中でも特に、「自主」「自律」の精神を身に付けることが社会の中で生きていくために必要です。「自主」とは、「自らやるべきことに気づき、行うこと」、「自律」とは、「自分で正しく考えて実行すること」をいいます。

皆さんが生きていく社会は、予測することが困難な変化の激しい社会です。そのような社会で生きていくためには、変化の中にあっても一人一人が「自分のやるべきことに気づき、どのようにすればよいかを考え、確実に実行する力」を身に付けることが大切になってきます。つまり、「自ら気づき、考え、実行する」という「自主」「自律」の精神が必要なのです。

そのような力を中学校三年間で身に付けるために、皆さんに大事にしてほしいことがあります。

まず、どんなことにも根気強く、粘り強く努力しましょう。すぐあきらめてしまったり、自分で実行する力はつきません。夢や希望を持って、未来の可能性に向かって様々なことに挑戦してください。

次に、たくさんのことを学びましょう。自分で気づき、考え、実行するには多くの知識と知恵が必要です。勉強はもちろん、様々なことを体験する中で生きる上で必要な知恵を身に付けてください。

三つ目は、人とのつながりを大切にしましょう。正しく考え、実行するには、仲間と力を合わせる必要があります。互いに認め合い、励まし合い、高め合って、苦しいときこそ、力を合わせて乗り越えていきましょう。

最後に、当たり前のことを、きちんとやれる人になりましょう。当たり前のこととは、例えば、あいさつをする、時間を守るといったことです。自主・自律といっても、自分勝手な判断は周りから信頼されません。逆に当たり前のことがきちんとできる人は周りから信頼されます。人から信頼されると、自分が伸びるための機会がどんどん増えていくのです。

これからの中学校生活、みなさんのたくさんの輝く笑顔と「気づき、考え、実行する姿」に出会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様、本日から大切なお子様を本校でお預かりし、教職員一丸となり、それぞれのお子様が生きていく力や良さを伸ばし、発揮することができるよう取り組んでまいります。中学校の三年間は、心も体も大きく成長します。その一方、様々な悩みを抱える時期でもあります。どうか、いつも近くにお子様を見守り支えていただければと思います。そして、心配なことや、地域が遠慮なさらずいつでも学校にご相談ください。教育において、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに協力して進めることが何より大切なことであると考えております。その考えのもと、本校はコミュニケーションスキルとして、子どもたちの学びを、保護者、地域の皆様と共有しながら教育活動を展開しておりますので、今後とも本校の教育活動に、温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和三年四月六日 西会津町立西会津中学校校長 佐藤 崇史

転入職員着任式 第1学期始業式



転入職員紹介（写真の向かって右からの順になります）

- 校長 佐藤 崇史（郡山市教育委員会より）
- 教諭 小荒井 晃（会津若松市立一箕中学校より）
- 教諭 一条 勇輔（会津若松市立第二中学校より）
- 教諭 黒田 綾子（県立西会津高等学校より）
- 講師 高橋 威人（会津若松市立河東学園中学校より）

また、音楽の非常勤講師として、荒井 泉先生が12日に着任しています。（詳しい先生方の紹介は今後の機会に）

学校だより「雄飛」について

本校は平成14年にそれまで町内にあった四つの中学校を統合して開校しています。

本校の校庭の周辺は、旧中学校区ごとにテーマを設け、それぞれの学校のあった山野を想い描けるような空間が再現されています。「生徒の実り多き未来を育むとともに、将来にわたり大きく羽ばたき大いに活躍して欲しい」という願いを込めて「雄飛の森」と名付けられ、当時の生徒と住民の皆様の手によって作られました。

当時の思いを引き継ぎ、今の西会津中学校の生徒にも「大きな志をいだいて未来に向かって大いに活躍してほしい」との願いを込め、学校だよりの名前を「雄飛」と名付けます。

生徒会対面式 ～自ら考え、実行しました～

4月7日には、新入生の対面式が行われました。生徒会活動の紹介に始まり、各部活動の紹介を2、3年生が工夫を凝らして発表しました。画面を上手に活用したり、細かいところまで部活動の特徴を伝えようとしたりするなど先輩の新入生に対する思いが伝わってきました。

一年生には西会津中学校の生徒としてやるべきことを一つずつ学んでほしいと思います。そして、部活動については、しっかりと考え、3年間継続して取り組める部を選ぶように話しています。それぞれの活動をしっかりと行うことで、調整力、コミュニケーション力など、社会で生きていくために必要な力がつきます。何より、学校生活が充実します。



「凡事徹底」～校長室から

校長室の前に、「凡事徹底」という言葉を紹介しています。「凡事徹底」とは、入学式の式辞で述べた、当たり前のことをきちんとやることです。平凡で当たり前のことを突き詰めて行う、中途半端ではなくレベルを高く行うことをいいます。あいさつをしっかりと、返事をする、靴をそろえるなど、一つ一つは難しいことではないですが、徹底するとなると簡単ではないかもしれません。でも、そういうことを根気強く行える人が、さまざまなことを成功させることができる人です。当たり前のことのできると周りから信頼されます。そうすると、自分を伸ばす機会が増えていきます。みんなで「凡事徹底」を目指します。